

教科(科目)	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	日本文教出版「高校生の美術1」				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

- ・美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

## 2 指導の重点

- ・表現、鑑賞ともに基礎的・基本的技能の定着をはかる。
- ・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を育てる。
- ・対象の造形的なよさや美しさを感じ取り、美意識を高める。

## 3 学習計画

月	単元名	題材・教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	○デッサン	鉛筆デッサン	観察力を養いデッサンの基礎を学び、描写の技能を高める。	11	授業の取組 作品
5					
6	○色彩学	カラーワーク	色の要素や12色相環、配色について理解する。	11	授業の取組 作品
7					
8	○平面デザイン	平面構成	色彩、形態など造形要素の働きを理解し、それらを効果的に生かして美しく構成する力をつける。	21	授業の取組 作品
9					
10					
11	○鑑賞	教科書、生徒作品	作者の心情や意図、表現の工夫などについて理解を深める。	6	授業の取組 提出物
12	○立体デザイン	クラフトデザイン	木製のスプーン制作を通して、立体物をデザインする際のポイントを理解し、機能性や素材を生かすデザインについて学ぶ。	21	授業の取組 作品
1					
2					
3					

計 70時間（50分授業）

## 4 課題・提出物等

- ・各題材ごとに制作した作品を指定した期日までに提出します。
- ・題材によっては、作品の他に練習課題等の提出もあります。
- ・夏季休業中の課題は別途指示します。（風景スケッチ等）

## 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況）、提出物（作品、レポート等）の内容から総合的に評価します。			

## 6 担当者からの一言

私たちは、美術と日常生活の中で無意識のうちに大きく関わっています。  
作品制作を通して自ら考え、工夫する力を養ってください。